

令和7年度盛岡市都市景観賞の決定について

1 目的と趣旨

都市景観形成の推進と市民意識の高揚を目的として、自然及び歴史的環境に調和した、潤いのある都市景観の形成に寄与する建築物等の施主等を表彰する盛岡市都市景観賞を昭和59年度から毎年度実施しており、今回で42回目となる。

2 決定までの経緯

- (1) 募集期間 令和6年8月1日～令和7年7月31日
- (2) 応募総数 13件
- (3) 選考について
盛岡市景観形成推進委員会において現地調査等を行い、決定した。

3 令和7年度盛岡市都市景観賞の名称及び所在地

- (1) minä perhonen Morioka (ミナ ペルホネン モリオカ)
koota joki/matka (コート ヨキ／マトカ) (紺屋町)
- (2) 株式会社齊藤興業 elb (エルブ) (北飯岡)
- (3) 盛岡市中央公園 BeBA TERRACE (フェーズ1) (本宮)

4 表彰式について

表彰は、令和7年11月15日(土)に中央公民館にて開催する第48回盛岡市都市景観シンポジウムにおいて行うこととしている。

◆◆◆第48回盛岡市都市景観シンポジウムにおける講演等について◆◆◆

- | | | |
|---|-----|--|
| 1 | 名 称 | 第48回盛岡市都市景観シンポジウム |
| 2 | 日 時 | 令和7年11月15日(土) 13時30分～16時30分 |
| 3 | 場 所 | 中央公民館 講堂(愛宕町14-1) |
| 4 | テーマ | 「暮らしの中の景観」 |
| 5 | 内 容 | 13:40 ①令和7年度盛岡市都市景観賞表彰式
14:00 ②基調講演(60分)
演題「てくりが見てきた盛岡・20年分」
講師 木村 敦子 様、水野 ひろ子 様、赤坂 環 様
15:10 ③パネルディスカッション(約80分)
テーマ 「暮らしの中の景観」
出演者 ・コーディネーター
沼倉 早紀 様(フリーアナウンサー)
・パネリスト4名
大櫻 薫 様(もりおか歴史文化館 アテンダント)
八幡 泰寛 様(写真のヤハタ)
佐藤 颯香 様(岩手県立大学総合政策学部)
木村 敦子 様 |

【問合せ先】
都市整備部 景観政策課
担当 佐藤 秀
TEL 019-601-5541

(資料) 令和7年度盛岡市都市景観賞

名称	minä perhonen Morioka (ミナ ペルホネン モリオカ) koota joki/matka (コータ ヨキ／マトカ)
所在地	紺屋町
完成年	令和6年
建築主	森 ^{まさひこ} 理彦 株式会社ミナ 代表取締役 田中 景子
設計者	オオツカヨウ建築設計
施工者	有限会社岩井沢工務所
評価等	旧奥州街道沿いの紺屋町番屋の近くに、リノベーションされた町屋づくりの店舗があります。むき出しの無垢材の梁や曲線で構成された壁の間の通路に入り、中庭を抜けて、中津川の流れが見えるカフェへ。中庭は針葉樹が植えられ小さな北国の森のよう。中津川を見下ろす2階建てのカフェは、レンガの白壁と2階の木調とのツートンがまるで北欧のような景観です。 これまであまり意識されていなかった「中津川から見える風景」を大切にしたい、というオーナーの気持ちが伝わります。店舗とカフェを土間のような通路と明るい中庭でつなげるつくりに加え、室外機や設備の露出を木板で遮蔽する気遣いも。老若男女が来店することから、審査委員からは「訪れた人たちを受け入れてくれる優しさも感じる」との評価も。歴史ある空間にあって、新しい盛岡の都市景観にふさわしいと選定しました。



minä perhonen Morioka
(ミナ ペルホネン モリオカ)



koota joki/matka
(コータ ヨキ／マトカ)

名称	株式会社齊藤興業 elb（エルブ）
所在地	北飯岡
完成年	令和7年
建築主	株式会社齊藤興業 代表取締役 齊藤 義成
設計者	フリーダムデザイン建築設計事務所
施工者	株式会社フリーダムデザイン
評価等	新しい施設が並ぶ北飯岡の一角に、アメリカンスタイルのポップな標識が見えます。古紙などリサイクルできるものを持ってきた人は誰でも入れるリサイクルステーションが新しくできました。廃棄物中間処理施設なのですが、従来のイメージとは違うモダンな色彩と統一感のある施設です。入口から一直線に管理棟まで貫く動線と、壁際には緑地帯。そして奥には木造でありながら大空間を片側に構える事務所が。背景の山並みが見通せる仕掛けを組み込んだ配置としています。 さらに評価のポイントは「地域に受け入れられる廃棄物の施設を」という強い経営者の思いから、地元町内会に働きかけ、地域住民に日頃から施設を利用してもらい、災害時に笑って過ごせるようにと屋根に太陽光パネルを設置し、飲料水をストックするという形に表れました。地域に開かれる廃棄の施設という、経営者の信念を含め、新しく頼もしい場所となるよう、期待を込めての選定となりました



名称	盛岡市中央公園 BeBA TERRACE（フェーズ1）
所在地	本宮
完成年	令和2年～令和7年
建築主	株式会社みんなの未来計画 代表取締役 濱田 和人 タヤマスタジオ株式会社 代表取締役 田山 貴紘 株式会社PUBLIQ 代表取締役 長澤 幸多 株式会社MDS 代表取締役 小松 秀弘
設計者	atelier meie（アトリエ メイエ）一級建築士事務所 株式会社キタバ・ランドスケープ
施工者	ウチノ建設株式会社 有限会社奎創舎 株式会社互大 東野建設工業株式会社 株式会社仙北造園
評価等	盛岡市本宮の中央公園ビバテラスには近頃、平日でも多くの人々が集います。行政主体ではなく、民間事業体が公園敷地を借りて運営する公園 PFI 事業としてスタートして5年目。3段階ある全体計画のうちフェーズ1として6建築群が揃い、評価の対象となりました。 この建築群とは、保育園、産直棟、飲食棟、まなび棟、こども図書館などの6つ。芝生広場が真ん中に広がり、公園ランドスケープの一部となるよう、やや統一された素材を使い、遠景の山並みと合う切妻屋根、どんぐりの森に合う木板の外壁、既存の森と芝生を取り込んだ風景から「都会と自然の中間地点にあるような空間」「仕事に疲れたら、ちょっと足を伸ばせる場所」という評価もありました。 「これが今の盛岡ですと、自慢したくなる一角」（審査員）であり、公園をめぐる景観づくりのひとつの見本として、より多くの方々に訪れてほしいとの気持ちを込め、選定しました。

